

意識障害・寝たきり（廃用症候群）患者の

生活行動回復看護

Nursing to Independence
for the Consciousness disorder and the Disuse syndrome Patient
(NICD)

研修

(2012 年度)

募 集 要 項

応募用紙の請求か下記のメールに

nicd.inst.2010@gmail.com

主催：日本ヒューマン・ナーシング看護研究学会

日本脳神経看護研究学会

意識障害・寝たきり（廃用症候群）患者の生活行動回復看護の研修

I. 研修の概要

*本技術の研修目的

長期意識障害（consciousness disorder）・廃用症候群（Disuse syndrome: 寝たきり（bedridden））にある患者は、老若男女・地域や療養施設にかかわらずその数は正確に把握されていません。しかし、高度医療の進展に伴い、救命はされたものの生活行動が困難な障害を抱える患者は多い。なかでも脳卒中や心肺停止、心疾患による低酸素脳症などの疾病により長期的の安静状態を強いられるケースが多く、こうした安静状態によって引き起こされた意識障害の遷延化や身体機能の廃用性により生活全般を他者に委ねる生活になる患者は多く存在します。このような患者においては、それまでの人生すべてが閉ざされ、また家族などの介護の負担も大きく、患者と家族のQOLの低下は避けられない状況にあります。

そこで、このような患者の身体的変化を生理学的、病理学的視点からアセスメントを行い、生活行動が自立へと導くための看護の展開が必要です。この看護は、基礎教育で学ぶ看護技術を基盤にしつつ対象者の状況に応じ自立への治療的概念をもった新しい看護技術です。そのためには、医学や歯学、運動学などの学際的知識を深化させ、対象者に応じた技術の提供方法を学ぶ必要があります。本研修は意識障害が長期化したり、廃用症候群による寝たきり状態になった患者の生活行動の回復を促進する専門的技術を習得するために開設いたします。

II. 研修の開催と内容について

1. 研修開催期日 平成 24 年 11 月 20 日（火）～平成 25 年 3 月 17 日（日）
2. 研修時間 5 ヶ月間において 500 時間とする
3. 研修内容及び研修開催地

	開催期間	研修内容予定	開催予定地
講義 1	2012 年 11 月 20 日（火）～11 月 25 日（日）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護技術の考え方 2. アセスメントの基礎知識 1 3. 対象患者のアセスメント方法 4. 身体解放の技術 5. レポートの作成方法 	札幌市
実践実習 1	2012 年 11 月 26 日（月）～12 月 12 日（水）	アセスメント技法の臨床実習	勤務先病院
講義 2	2012 年 12 月 13 日（木）～12 月 16 日（日）	<ol style="list-style-type: none"> 1. アセスメントの基礎知識 2 2. 専門外来見学 3. 患者への看護実践のためのマネジメント 1 4. 身体解放の技術 5. 身体調整の技術（口腔含む） 6. 実践看護計画の立案方法 	栃木県下都賀郡野木町
実践実習 2	2012 年 12 月 17 日（月）～2013 年 1 月 17 日（水）	アセスメントから看護計画作成の臨床実習	勤務先病院
講義 3	2013 年 1 月 11 日（金）～ 1 月 16 日（水）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生活再学習の技術 2. 患者への看護実践のためのマネジメント 2 3. 実践看護計画立案と評価方 4. 報告書・抄録の作成方法 	札幌市
実践実習 3	2013 年 1 月 17 日（木）～ 3 月 14 日（火）	アセスメント～看護計画立案～実践～評価の臨床実習	勤務先病院
講義 4	2013 年 3 月 13 日（水）～ 3 月 17 日（日）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事例報告のための資料作り 2. 事例報告 	札幌市

4. その他

- * 研修内容は予定であり、講師等の関係で日程や内容が変更される場合があります。
- * 実践実習にける指導は、指導者が勤務先病院まで出向し指導の予定です。
- * 研修修了の条件は、講義研修の90%以上の出席、講義や実践実習のレポート提出による評価（60点以上）、技術試験の合格が必須です。
- * 研修修了時には、日本ヒューマン・ナーシング研究学会と日本脳神経看護研究学会合同の認定試験（試験と事例レポート）の受験資格が得られます。
- * 研修地への交通費並びに宿泊費は別途自費となります。
- * 宿泊施設の紹介はありません。

Ⅲ. 応募について

1. 応募期間

8月1日（水）～10月31日（水）

※提出書類は応募期間内に必着でご送付下さい。

2. 応募条件

以下の条件のいずれかを満たす者

- ①国家資格を持った看護師・保健師で、臨床経験5年以上の者
- ②脳神経系看護に高い関心を有する者
- ③将来、本技術の指導者となる資質を備えた者

3. 定員 40名

4. 応募書類

様式1～様式5

* 書類の必要な必要の方は、下記の住所またはメールでのご連絡をお願いいたします。応募書類は、メールでも送信いたしますので添付ファイルを受信できるアドレスのメールでご連絡を下さい。

応募希望者の連絡先

林裕子

郵便：〒060-0812

札幌市北区北12条西5丁目

北海道大学大学院保健科学研究所

（「応募書類希望」と赤字で記入）

Email：nicd.inst.2010@gmail.com

（件名に「応募書類」と記入）

必要事項；応募者の氏名、年齢、勤務先、連絡先の住所、Email、TEL

5. 受講者選考

受講者が多数の場合、書類にて選考する

6. 応募先

林裕子

〒060-0812

札幌市北区北 12 条西 5 丁目

北海道大学大学院保健科学研究院

(「研修応募書類在」と赤字で記入のこと)

7. 受講決定の通知の送付

選考結果(受講決定)は、開催日の 11 月 6 日までに応募者宛に通知いたします。

8. 研修受講料 600,000 円

納入方法は受講決定通知時にお知らせいたします。